仙台市若林障害者福祉センター
「防犯講座」を開催しました

令和元年９月１２日
仙台市若林障害者福祉センター

令和元年９月１２日（木）、仙台市消費生活センター相談啓発係　幕田久美子　様を講師として招聘して、当センター３階研修室大にて「防犯講座」（悪質商法にご用心～手口を知って、被害を防ごう～）を開催し、６名が参加されました。

講座の内容は、悪質な消費者トラブルの手口（電話勧誘・訪問買取・振り込め詐欺等）、対処方法、被害にあわないためについて説明していただきました。

最近多いトラブルとして、電気料金が安くなるなどの電話勧誘があり、電気料金の明細を教えてほしいなどと言葉巧みに、検針票に書かれてる番号などを伝えると、数日後に封書が届き、契約もしていないのに、電気契約の変更がされているというような事例があった。また、不用品なんでも買取ますなどと、訪問がありいらない洋服などを出したが、「これではあまりお金になりませんよ」などと話し、「貴金属などはありませんか鑑定しますよ」言葉巧みに話し、あれよあれよと言ううちに、買取しましたありがとうございましたと帰ってしまった等の事例を紹介いただきました。

アンケートでは、特に参考になったと思うこととして、クーリング・オフの仕方や、電気料金の切り替えトラブル、架空請求はがきなどが参考になりました。

特に勉強になったのは、架空請求はがきで、実物を見せていただき、もしはがきが来ても、無視する、間違っても連絡しない、もし不安な時は、周りの人に聞いたり、消費生活センターに相談するということを勉強しました。

なお消費生活センターのホットライン（相談窓口）は188（いやや）（全国共通）とのこと。

当講座をきっかけとして地域のつながりが増え、防犯意識が高まり、犯罪被害が減っていくことを期待します。また、今後もこのように地域の皆様の関心のある講座を開催していきたいと思います。